

Repetita/zakoon

All songs written by zakoon

01. 僕の六弦共鳴論

真似事は前から
ほら得意でさ
ツギハギ貼り付け
ほらね

一人得意げになり、
溺れてる
安物のギターをかついで

正真証明
オリジナルなんて
どこにも転がっちゃ
いないんだよ

ギターかきならしたって
チューニング下げたって
『本物にはなんか
なれないんだよ。』

そうさ、才能なんてさ
どこにもありゃしないから
この真っ黒けの
六弦を鳴らすだけ

ただ認められたいから
何者にもなれない
この僕を今、証明したいんだ

音、出してみても
ああこうでもない
出したい音はこれかい？

ああ、四弦に
鞍替えしてみたところで
何も変わらない、そうだろ？

正真証明
オリジナルなんて
ぼくのどこにもないんだろう？

ベースかきならしたって
スラップかましたって
『本物にはなんか
なれないんだよ。』

そうさ、センスの欠片も
どこにもありゃしないから
この真っ黒けの
四弦をただ弾くだけ

ただ認められたいから
何者にもなれない
この僕を今、証明したいんだ

そうさ、才能なんてさ
どこにもありゃしないから
この真っ黒けの
六弦を鳴らすだけ

ただ認められたいから
何者にもなれない
この僕を今、証明したいよ

才能なんてさ
どこにもありゃしないから
この真っ黒けの
六弦がここにある

ただ共鳴したいから
たった一度でもいい
この六弦と僕、共鳴論

02. トロンプ=ルイユ

右みて左をみて
自分の身なりを直すふり
きっとあぶれたアイツは
落ちぼれの村八分なり、総倒れ

そうさ、ここまでよくある紙芝居
やりつくされてきた古典芝居
そんな人間と呼ばれる種の多くの
排他的習性、なんです

評論家気取った凡人の
集合体がそこにある
やつらばっかに注して、後塵を
拝した先にはなにがある

そんな薬のやり過ぎなんです、
だって道理言わずにやられない
きっと中毒症状なんです
5点満点の評価基準なんです

哀れ気取り
「みんなの集団自殺」

飽いてたって
とりつかれるんだ
緩慢な死に向かうんだ
ハッピーエンドで行き止まり

快も楽も食ったって
どこにもいけやしないから
あ、ここでデッドエンド

全部終わりきった時に
気づくような間抜け共しか
ここに存在していない現実
知の分水嶺にしたがって

きっと意固地になってる君しか
「無知」に生きていないのと悟った
やり切れない僕らの心もちは
どこにもやり場がないのです

僕を構成するこの断片が
傀儡のカラクリと知ってなお
僕は客観的に見るには
近すぎるこの自我におぼれてる

もはや手遅れなんだと気づくにも
遅すぎるくらいに笑えた
「無知の無知」こそ最善策とわかったって
知ってしまったら意味がない。そうでしょう。

哀れ気取り
「みんなの集団自殺」

飽いてたって
とりつかれるんだ
緩慢な死の行進さ
いつまで消耗してるんですか？

どこにも続いてないよ
ゴールまで下っていただけ
あ、ここでデッドエンド

腐っていくんだ
果実のように
賞味期限なんて代物は
とっくの昔に切れてんのさ

腹いせに教えてあげる
君の大好きな"それ"は
どこにもないんだよ。

空っぽだって
気づいてたって
どうしようもないのだからさ
緩慢な自殺のパレードさ

「いいね」「いいね」群れていたって
どこにもいけやしないんだよ
あ、ここでデッドエンド

03. 365日目の告白

孤独の果てに
殺していく、想いを
素直な言葉は涙で錆付き

この思い出さえも
僕を責め立てるの
もうそんなものなんていらんや
いらんや

消えていったあなたは戻らないけど
全部ぼくのせいと知っていたら変わった
のかな

離別の果てに
消してゆく、想いを
素直な気持ちはどこかに忘れて

ああ、怖くなっちゃって
傷つけてやるんだ
もうそんなものなんて壊しちゃえ
壊しちゃえ

言えなかった言葉が燻って
寂しがり屋の心に染み込むんだ

傷ついて傷つけて
口からでたナイフで傷をつけあったね

あなたは謝ってくれたのに
素直になれなかったのは僕なのに

きっとあなたの気持ちがわからなくて
ただ意地っ張りで子供な僕だけけど
言えなかった言葉は今なら言える
365日目の告白と

04.ポップ・アップ・スタック

テレビをつけたら
陰口、溢れててくるんだ
大事に育てた
自己愛は、三日前に死んだんだ

やめて
そんな近づけないで
通知、消して
鳴り止まないの。

ああ、消えたいの、心から
ぼくの心象なんてぶっ壊して
ただ逃げたいの、どこまでも
そんな焦燥観念

ただ、死に体のガラクタで
だって人形にもなれないの
この初期不良をどうにかしてよ
いますぐ連れ出してよ

ペテン師がはびこる
嘘でさ、消毒した世界
内臓、引き出し
水道で隅々洗うんだ

いらない
そんな近づけないで
通知、消して
頭、痛い。

ああ、うるさいの、耳鳴りが
ぼくにガンガン響くサイレンが
ただ映りこむ文字列と
この液晶画面

ああ、死にたいの、今すぐに
だってもう無理さ、これ以上は
この初期不良をどうにかしてよ
いますぐ連れ去ってよ

裸た体を脱がしてさ
内の臓をぶちまけたって
そう、かわれないよ
なにもないんだよ、からっぽだもん

生まれたままは汚いね
だって「本物」だけでできていて
それでもいいの、
安くていいから、いますぐ消しさって

欲しいよ、消えたいの、心から
ぼくの心象なんてぶっ壊して
ただ逃げたいの、呼吸さえ
もう苦しいくらいなの

ただ、死に体のガラクタで
だって人形にもなれないの
この初期不良をどうにかしてよ
いますぐ突き落として

05.ノーサイドスーサイド

大体、この気持ち
誰も受け止めても
拾ってもくれるはずもないし
独りディスコミュニケーション

せいぜい不燃物
ぼくの存在価値など
どこにもあるわけないし
居場所なんてものもないや

大体そうそう共感する馴れ合いも
全然あたしは共振できないの。

だから吐いてみろ、その本音、
誰にもいえないでしょ？
肝心のあたし
ひとりぼっちで死に体

敵なんていないから
味方だっていないから
誰にも気づかれないよ。

チクチク痛くなって
一人傷跡つくって
強がる弱気な少女
ササクレ立ってしょうがない

ダメダメになって
一人涙をこぼして
棘さえ剥き出しにして
誰も手を触れちゃくれない。

はいはい、そうそう、諂うふりした言語
大大大大大大嫌い。

だから書いてみろ、その本音
30じゃ収まんない
肝心のあたし
ひとりぼっちで死に体

敵なんていないから
味方だっていないから
誰にも気づかれないの。

惨憺たるこの惨状、リセットしようね
ゲームは飽きたらさっさとポイなんだ

だから書いてみろ、その本音
140じゃ足りないや
あたしはひとりぼっちでも
いいわけないじゃん！

さびしいね、この事実
孤立無援、四面楚歌
いらぬモノはゴミ箱へ

だから吐いてみろ、その本音
汚くぶちまけて
肝心のあたし
ひとりぼっちで泣いているよ

さびしいね、こんなんじゃ
ゲームはもう終了だよ。
燃えない、ゴミはゴミ箱へ

06.window

気づかないふりをして
ごまかすことも
自分の心の窓
割れてしまって

繋がることにさえも
臆病になって
ぎこちない笑顔でさ
笑ってる

あなたの中でさ、一番に光る
知らない誰かの笑顔にさ
一番じゃなくていい？
となりに居ればばいい？
すれ違っていく日々、追いかけて

ただ待ってるよ
あなたが"好き"をくれる時まで
それでもいいよ
あなたのこと恋してるから。
あなたのことただ好きだから。

ずれていく歩幅を
合わせようとして
歩くにも少し
息切れをして

少し苦しくなった
夜更けを越えて
胸の奥の
痛みを隠して

ぼくの涙さえ、見えないくらいに
君に輝く一等星
一番じゃなくていい？
となりに居ればばいい？
ah、君はほんとにずるいよ

ただ好きなんだ
きっと誰にもわからないけど
それでもいいよ
あなたのこと恋してるから。
あなたの呼吸、感じてたいの。

心が苦しくなる
きゅっと締め付けられ
いつかきつと壊れてしまうけど
それでもきつといいから。
涙隠して笑うの。
あなたの前で咲かすの。
一輪の花。

ただ待ってるよ
あなたが"好き"をくれる時まで
それでもいいよ
この手を君が離しちゃうまで
あなたのそばに僕を居させて

ただ好きだから
僕の涙も見えてなくていい
それでもいいの。
この手をぎゅっと握っていてね
あなたが離す、ただその日まで

07.リップサービス

新宿、渋谷、池袋
三番線発、終列車
退廃的この現実を
溶けてくあたしの心模様

惚れた、腫れた、馬鹿騒ぎ
パイプなスイッチ入れちゃえば
すんなり入っていくものよ
男と女のデキレース

アンニュイルックな青年も
ディープでループなダンディも
大した差ではないけれど
あたしにとっては大事なの

ライトなエッジを効かせてる
澄ました顔したあの子でも
イマドキ風味の誘いをさ
結局、嫌いになれないでしょ

お遊びは終わらせて
シックに振舞うの。
興ざめな現実を
置いてけぼりなの。 ah

non non non
チープな言葉では
あたしは揺らぎはしないから ah

wow wow wow
演じてほしいのよ
ムードでシックな現実を

ビッドでクールなワンナイト
レイズで勝負を掛けたなら
リップにチップが弾け飛ぶ
重なる二人の心模様

案外タイトなツービートも
たまにはいいとも思うけど
ハイファイライトな縦ノリが
やっぱりあたしに合ってるの

ネオン街、視界も
ブレちゃってるけど
あなたに酔えるなら
あたしそれでいい ah

long long long
夜が明けるまでは
タイトなビートで踊らせて ah
short short short
がっかりさせないで
この今だけは忘れさせて

そう、お遊びは終わらせて
シックに振舞うの。
興ざめな現実を
置いてけぼりなの。 ah

non non non
バイバイするまでは
あたしをがっかりさせないで ah
wow wow wow
闇夜に溶けてゆく
今だけを感じさせて欲しい ah

hi hi hi
上昇していくの
あなたが望めばどこまでも ah
loose loose loose
縛られたくないの
ルーズなカラーがお似合いよ

shock shock shock
がっかりさせないで
今だけは忘れさせて欲しい ah
ride ride ride
この瞬間だけは
虜にさせて欲しいだけよ

08.拒食症

摂食しすぎて、舌が麻痺しまった僕たちは
赤信号、みんなで渡れば一般常識

おいしいですか？他人様の不幸の味は？
楽しい僕らのおもちゃだと分かってしまえば
平気な顔をして踏みつける。

次、お前の番、どんな味がするのかな？？
コンテンツのフルコース
つまないと分かりゃ、すぐさまゴミ箱行きだ
誰だって同じ"人間"さ

太りすぎて、醜く歪んでしまった耽美眼
人工甘味料に犯されてしまった現代人

この偽善者と罵るだけの視聴者様は
助けもとめた、画面越しの必死な手を
醜い笑顔であざけ笑う。

次、お前の番、どんな味がするのかな？？
上っ面のファーストフード
気に食わないと思えば、すぐさまブタ箱行きさ
誰だって同じ"人間"さ

胃の中のカワズは
どちらさまのことなんでしょう？
世は弱肉強食、強いもの勝ちですし？ね？

次、お前の番、どんな味がするのかな？？
ロットが詰まってるんだ
味見で飽きたら、すぐさま残飯行きさ
「早く次を出せ」

「あ一つまらないわ」
口をそろえていうけど
保存料でんこ盛り
飼いなされちまったブタ小屋のお前たちは
今晚の僕達の"ディナー"になるのさ

09.さよなら歌姫

旋律にこめた
言の葉は零れ
意味を失って
埋もれ消えて行く

書いた言葉なんて
もはや届かなくて
歌ったこの歌は
誰が聞いてくれるの？

生まれて消えるこの幾千の歌に
君がこめてた大切な思い出を
誰も拾い上げちゃくれないこの世界で
野ざらしにされているんだ。

いつか君の声がかかれても
君の歌が消えてしまっても
あたしは君の隣いるから
いつでも隣で歌っているから
君の歌をさ、覚えているから

君だけの表現は
もはや作れないんだ
作ったこの曲は
誰に響くだろう？

作られすぎた曲の山に飲まれて
君の言葉はどこへ消えていったの
歌わせないで、心にもないことを
その気持ち、込めて欲しいな。

いつか君の声がかかれても
君の歌が消えてしまっても
あたしは君の隣いるから
いつも隣で歌っているから
君の歌をさ、覚えているから

作っては捨てて
聞いては捨てて
聞き切れなくなって
誰も聞かなくなる

いつか君がいなくなっても
君の歌が忘れられても
あたしはずっとここにいるから
いつでもあなたを覚えているから
君の歌をさ、いつでも

いつか君の声がかかれても
君の歌が消えてしまっても
あたしは君の隣いるから
いつでも代わりに歌ってあげるから
君の歌をさ、覚えているから
君が作ってくれたこの歌を

10.狂愛歌

茎から枯れて花だけ残り
葉さえも散って枝葉も折れた
光は二度と差し込まないの
最後の果実身ごもらせて

枯れ果て、散り行き
注がれずに末路へ
あなたに捧げた
この一輪の花さえも
最期に残った
腐りかけの感情に
なんて名前を付けましょうか？

Ah 愛してるの言葉は嘘ですか？
ただ誤魔化すための
そう、妄言ですか？
ただ生と性に絆され、実らせた
生れ落ちてゆくその背徳と

ただ花は散って命を実らせた
この僕と君の空虚なまごごとを
せめて蕾萌ゆる僕を咲かせましょう
腐り落ちてゆくこの純潔、
狂愛花

口から漏れた嗚咽の言葉
水を求めて喘ぐ私に

愛は二度と注ぎ込まれず
空の部屋でひとり泣いてる

枯れ果て、散り行き
注がれずに終わりを
あなたに捧げた
この一片の花さえも
最期に残った
腐りかけの感情に
どんな言葉が似合いますか？

Ah 君の愛は"作った"物ですか？
ただ吊り上げるためだけの餌ですか？
ただ生と性に絆され、実らせた
生れ落ちてゆくその背徳と

この愛と君と心と花束を
この罪と罰と悲愴な自己愛と
せめて蕾萌ゆる僕を咲かせましょう
腐り落ちてゆくこの純潔、
狂愛花

枯れ果て、散り行き
注がれずに末路へ
あなたに捧げた
この一輪の花さえも

最期に残った
腐りかけの感情に
愛はほんとにあるのですか？

Ah 愛してるの言葉は嘘ですか？
ただ誤魔化すためのそう、妄言ですか？
この罪と罰と悲劇のヒロインの
快樂の果てにある結末と

ただ花は散って命を実らせた
幼さに宿る果実の萌芽さえ
まだ事の意味を知らないそのまま
きっと気づかぬままに終わっていく

Ah 愛してるの言葉は嘘ですか？
ただ誤魔化すためのそう、妄言ですか？
ただ生と性に絆され、実らせた
生れ落ちてゆくその背徳と

ただ花は散って命を実らせた
この僕と君の空虚なまごごとを
せめて蕾萌ゆる僕を咲かせましょう
腐り落ちてゆくこの純潔、
狂愛花

11.ずっと

気づけば視線で追っていた
あなたの横顔を
さりげない仕草や会話だって
思い出してしまうよ

くしゃっと笑う君
つられて笑う
いつからかすごく
眩しく見えたんだ

いつだって、
ずっと、ただずっと
あなたのことが好きで
きゅんとしちゃうんだ
馬鹿みたいよね

だけど
ぎゅっと、ただぎゅっと
してほしいだけなんだ
きっと大丈夫
気づいてないよね
僕のこの想いに

二人きりなってしまったの
どぎまぎしちゃうって
あなたと目が合ってしまったら
すぐ目を逸らしちゃう

ちょっと意地悪でも
ただ優しくて
いつからかすごく
意識しちゃってたんだ

いつだって、
ずっと、ただずっと
あなたのことが好きで
きゅんとしちゃうんだ
馬鹿みたいよね

だけど
ずっと、ただずっと
止められない想いが
きゅっと締め付けて
溢れちゃうよ
僕のこの気持ちが

伝えることもできずに
今日も明日も終わって
近くて遠い、君との距離感
少しでも縮めたくて
勇気をちょっと出すんだ
「神様、僕に踏み出す勇気を」

やっぱ
ずるいよ、ずるいよ
あなたのことが好きで
きゅんとしちゃうんだ
どうしようもないの

きっと
ずっと、ただずっと
伝えたかった想いが
きゅっと締め付けて
溢れちゃうよ
僕のさ

いつだって
ずっと、ただずっと
あなたのことが好きで
きゅんとしちゃうんだ
馬鹿みたいよね

やっぱ
ずっと、ただずっと
あなたのとりにいて
きゅんとしたいんだ
馬鹿みたいよね
でも君が大好きなの

12.突貫(inst)